

松本県ヶ丘高等学校 応援歌集

県陵祭記念歌 萩原邦彦 作詞

朝に仰ぐ

健男児

信濃健児

起て健男児

覇権の剣

秋立ちそむる筑摩野の
小梢をわたる風刃えて
今ぞ実れるこの成果
あゝ我等の縣陵祭

朝に仰ぐアルペンの
白き冠の姿哉
夕べに望む筑摩野に
光さやけき月の影
秀麗の地に鍛えこし

県が丘の健男児
千古揺がぬアルペンの
威風を示す時ぞ今
振るえ振るえいざ振るえ

信濃健児は昔より
律儀廉恥を重んじて
剛毅敢為の性に富み
卑怯柔惰を恥ずるといふ
世の文明は進めども
改むべしや此の遺風

あゝ聖獄の健男児
熱血たぎる若人の
力を示す時ぞ今
いざ戦わん健男児
いざ戦わん健男児

槍峰おろし身に浴びつ
白樺香る県陵に
基定めて九十余年
飛躍の時は今なるぞ

先賢の書を胸に秘め
霊峰槍を仰ぎつ
固めし基君見ずや
あゝ我等の縣陵祭

勝利も固し我が選手
嶮冬猛火の練習に
必勝の自信我にあり
力を示す時ぞ今

質実剛健団結の
我が応援の神明は
天に居まして見ますなり
振るえ振るえいざ振るえ

互に切磋琢磨して
急がず倦まず怠らず
勉強するにあけぬべし
日本群山見放れば
雪の衣に雪の肌
雄姿高潔比類なく

臥薪や此処に幾春秋
汗と涙で鍛えたる
力を示す時ぞ今
覇業を遂げん健男児

覇権の剣握るべく
臥薪や此処に幾春秋
過ぎし恨みをそぐべく
いざやかぶとの緒を締めよ

空を翔けゆく若き血は
わが学び舎に高まりて
ほだの聖火の燃ゆる時
あゝ我等の縣陵祭

我等が立てし功績の
高き姿のそれに似て
嶺々とそびゆる槍の峰
血汐は踊れ今は又
我等が待ちし晴れ戦
寄せなば寄せよ幾万の
敵はあれども我に又
鍛えし剣弓矢あり
挙げて帰らん勝鬨を

勝利の叫び

燃ゆる制覇

制覇の力に燃えて 友よ聞け我等が希望
胸に勝利の雄叫び期して いざや進まん我が県陵軍

黎明の孤城に歌う アルプの嶺勝利に映ゆる
若き正義の力は強し 光り輝く我が県陵軍

天下の県陵

時は至れり今処に
日頃の技倆を示さんと
県陵健児の血はほと走り
此処に立ちたる我が選手

勝利を告ぐる鬨の声
天下の健児と仰がれて
県陵台上月影清く
輝くアルプスその功績

空にどよめく勝利の叫び
見よや頭上の大旗を
我等は勝てり我等が選手
死すとも守れ此の栄を

尖光きらめき我胸おどる
アルプス晴るる緑の空
我等は勝てり我が選手
高く叫べよ此の意気を

静かぬ国の鎮めにて
尊く立てる山こそは
これ我が校の徽章なれ

青史は既に九十余年
新興健児の意気高し
蛟竜は既に淵を呑む
あゝ県陵の健男児
あゝ県陵の健男児
あゝ県陵の健男児

あゝ県陵の健男児

あゝ県陵の健男児